

①紋別＝羽田路線

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該遠紋地域では、観光入込客の低迷が続いており、観光客誘致による航空需要の増加策が必要である。</li> <li>・夏場は帰省や観光客等で需要が安定しているものの、その他の季節においては未だ需要が低迷しており、通年での安定的な需要の創出が急務である。</li> </ul>
方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場以外の観光資源（食・流氷・花）について首都圏向けに集中的にPRを行い、知名度向上と旅行商品の充実・強化により通年での需要の安定を図る。</li> <li>・ターゲットは路線の就航先である首都圏在住者の他、紋別市と協力関係にあるタイを通じて、東南アジアの外国人とする。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで単年の搭乗者対策を中心に活動していたものが、3年間のPR活動を確保できたことにより、中期的な視野で搭乗者確保の取り組みを行うことができた。</li> <li>・食・流氷・花に関する取組成果が搭乗者にうまく反映できているかを計測することは困難であったが、実施以前と比べると市内及び地域の関係機関との連携を深め、閑散期や流氷頼みにならない冬季観光の構築を協議できるまでに至った。</li> <li>・首都圏での情報発信の拠点作りや海外においてのPRとしてSNSを活用した情報発信や、外国人観光客誘致については、手応えをつかんでいるので引き続き積極的に進めるものとした。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムが流氷に依存しない魅力を他の資源から検討するきっかけになっている。天候不良や食材の不漁等のリスクを事前に地域で共有することで継続できるものとする。</li> <li>・課題であった閑散期の底上げは本プログラムの取組により一部改善が見られている。</li> </ul>